



小郡市立大原中学校だより

大為小積



令和3年 師走 15日

第21号

校長 矢野 晴一

学校教育目標:「自ら考え、自ら判断し、自ら行動しようとする子どもの育成」※「考動」

## 「一人一人の『考動』が大事・・・！」

### 便利さの裏側にある危険 私自身の反省もこめて！

小郡市内の各家庭に届いている「広報おごおり」の12月号に気になる記事を見つけました。

「親のカードでオンラインゲームに高額課金」という見出しの記事です。

昨年度のはじめ、長期にわたる休業措置がとられました。以来、「子どもたちの学び」を保障していくために必要なこととして、ICT教育が推進されてきています。学校でも、オンラインによる授業や集会の実施、お知らせやアンケートの実施等、さまざまな場面で、活用しております。

その反面、記事にあるようなさまざまな問題も増加傾向にあります。

パソコンやスマートフォン、タブレット端末等は、とても便利なツールです。でも、目的や場面、使い方を誤ると、ときには命をおびやかす危険なものになってしまうことを忘れてはならないと思います。本校がめざす姿として掲げている「考動」は、「良心」や「真・善・美」、「利他(利己の反対)」に基づくものです。常に、「それは正しいことか」「相手の気持ちはどうか」等を考えて、判断し、行動に結びつけることが大事だと考えます。

先日、保護者のみなさまに実施いたしました「学校生活アンケート」で「校長先生の保護者会等での写真撮影は、SNSの指導と反している」というご指摘をいただきました。

「学校便り」や「子どもたちの活躍」掲示板等を充実させて学校のようにすをお伝えしたい一心で写真を撮らせていただいていたのですが、私自身が一番「相手のことを考えることができていなかった」と、猛省しております。どうすれば「相手の気持ちは考えた」ことになるのか、自分自身をみつめて行動してまいりたいと存じます。

学校の様子については、私自身が用い方を誤らないよう注意を払いながらこれからもお伝えしてまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

## 「新しい校舎を見ていただきました」 学校運営協議会 開催



11月16日(火)、本年度第二回目の大原中学校学校運営協議会を開催いたしました。特別教室棟の改修が終わり、ピカピカの環境で学ぶ子どもたちのようすをみていただきました。

協議では、制限された状況に負けることなく体育大会や文化発表会等に取り組んだ子どもたちの奮闘や先生たちの支えに、「感動した」「考動が浸透していますね」と評価をいただきました。

この二年間、つながるための活動がすべて制限されました。でも、子どもたちも地域のみなさんも決してうつむくことなく、前を向いて歩みを続けています。これからも、子どもたちのことを、そして、本校の教育活動を見守っていただきますようよろしくお願いいたします。

**消費生活相談室** 小郡市消費生活相談室 ☎27-5188 窓口開設日 毎週月～金曜日 午前9時～正午、午後1時～4時

**親のカードでオンラインゲームに高額課金**

〈相談事例〉  
小学生の息子が、家族共有のタブレットを使ってオンラインゲームの有料アイテムを次々に購入し、総額30万円の課金をしていた。タブレット端末には、父親のクレジットカード情報が登録されたままになっており、子どもが使う際も利用できるようになっていた。(40歳代)

〈消費者へのアドバイス〉

- クレジットカードの情報は登録したままにせず、カード情報の削除やクレジットカードのパスワード管理を厳重にするなど、十分注意しましょう。
- 子どもが使うスマートフォンやタブレット端末では「ペアレンタルコントロール」などを利用し、購入・支払いなどに制限をかけましょう。

※子どもによるパソコン・携帯電話・スマートフォンやゲーム機などの情報通信機器の利用を、親が監視して制限する機能

- オンラインゲームで課金する場合のルールを、日頃から家族でよく話し合しましょう。

困ったときは、すぐ相談！

⑩ 広報おごおり R3・12・1

## 『掃除』の時間は『創自』の時間！

### ～ 大原自問清掃・朝のボランティア活動 ～

季節のうつろいは例年通りで、冬の冷たい風が身にしむようになってまいりました。

本校の掃除の時間は、音楽がなりません。話し声も聞こえません。「自問清掃」と言っています。自問清掃で大切にしていることは、「**がまんする心**」「**気づき、思いやる心**」「**感謝の心**」です。

褒美や報酬のない活動に黙々と取り組む「掃除」の時間は、自分自身の心を磨く「創自（自らを創る）」の時間だと考えています。

黙々と廊下や教室を雑巾で磨き、寒風の中、黙々と葉っぱを集め、黙々とトイレを磨く子どもたちの姿は、日々輝きを増しているように感じております。

12月2日（木）の早朝、いつものように校門に向かおうとすると、子どもたちと先生方がいっしょに木の葉を拾い集めてくれました。

誰かに言われたからではなく、自分たちで「**気づき**」「**考え**」「**行動する**」子どもたちの姿は、朝陽をあびてまぶしいくらいに輝いていました。

「続々と子どもたちの活躍の報が届いています・・・！」

薬物乱用防止ポスター・人権作文 表彰、人権ポスター 展示

寒風や ぞうきんしぼる 真つ赤な手  
校舎を磨き 心を磨く  
晴一



二学期も終盤をむかえる中、続々と学校に子どもたちの作品の入賞や入選の報が届きます。

12月2日（木）、**3年生の さんに福岡県薬物乱用防止ポスターコンクール優秀賞**が授与されました。また、12月13日（月）には、人権擁護委員のみなさんが来校され、**3年生の さんに福岡県人権作文コンクール久留米協議会賞**を授与されました。そして、**小郡市人権ポスターコンクールで入選**を果たした**3年生の さん**の作品は、人権週間の期間、小郡イオン店内で展示され、たくさんの市民のみなさんに観ていただきました。

子どもたちの努力に対し、評価をいただいたことをうれしく思いますとともに、子どもたちの可能性の広がりや高まりに心が踊るような感覚を覚えます。

## 小さいけれど大きな感動 その21 「言葉の力・・・！」

学び場支援事業の取組である「大原中チューター」の中でのさりげないできごとを紹介します。

子どもたちは、一生懸命に自分の課題に向き合って学習を進めています。私も毎回参加していますが、専門の国語科以外の学習については、わかりやすく教えたり伝えたりすることができず、いつも子どもたちに申し訳ない気持ちでいっぱいになります。

先日、チューターの学習終了時にこらえきれなくなって思わず「役に立てなくてごめん！」とつぶやいてしまいました。

そのときです。ある一人の子どもが「**いてくれるだけでいいんです！**」と声をかけてくれました。

**なんと温かい言葉でしょう。**その瞬間、少し沈んでいた私の心に明るい陽がさしたような感じがして心の底がぼかぼかしてきました。私は、その瞬間のことを一生忘れないと思います。

日常の中でのさりげない言葉がこんなにも人の心を温かくしてくれるということを実感するとともに、あらためて**言葉には人を救うことができる大きな力がある**ということを学ぶことができました。